

NHKメディアホールディングス

2023年度 事業計画

基本方針

NHKメディアホールディングス（MHD）は、番組やニュースなどのコンテンツ制作でNHKの放送を支えてきたNHKエンタープライズ、NHKエデュケーショナル、NHKグローバルメディアサービス、NHKプロモーション、NHKアートの5社を100%子会社として傘下に置く関連事業持株会社です。NHKの衛星波の削減や受信料の値下げなどで事業規模縮小が見込まれる中で、当社は「公共メディアNHKを支え、傘下子会社を通して国民に安全・安心と信頼できる情報・豊かなコンテンツを届け、社会に貢献する」ことを経営理念に掲げ、傘下子会社のスリムで強靱な体制構築を進めます。

2023年度は、多彩な専門性とノウハウを持つ傘下子会社の連携を促進し、シナジー効果による「信頼できる情報の発信強化と公共メディアの新たな価値の創出」に取り組むとともに、管理間接部門の集約や重複業務の整理などを行い、変化に強い強靱な経営を目指します。さらにコンプライアンスの徹底・ガバナンスの強化に向けて、内部監査機能を高度化させ傘下子会社の内部統制のレベルアップを図ります。

重点施策と行動計画

1. 傘下子会社の専門性を結集し、「信頼できる情報の発信強化と公共メディアの新たな価値の創出」に取り組む

- コンテンツ制作が効率的かつ高度に行えるよう、傘下子会社の専門性とノウハウを結集してシナジー効果を生み出し、NHKの使命達成に貢献します。
- 放送と通信の融合が進む中で、NHKのコンテンツをだれもが分かりやすく視聴できるよう、手話や字幕放送、2か国語放送などユニバーサル・サービスの拡充に取り組みます。

2. 経営管理の効率化・高度化を進め、変化に強い「スリムで強靱」な経営を実現

- 傘下子会社の生産性を向上させ、減収局面での経営の強靱化を進めます。
- グループ内の重複業務を精査し、事業の協働や統合、組織の在り方の見直し等を行います。
- 管理間接部門の効率化・高度化については、傘下子会社の法務審査業務の集約などを進めます。

3. 内部監査機能を傘下子会社からMHDに移管し、効率化・高度化した監査を行う

- 傘下子会社の内部監査部門を廃止し、MHD内部監査室が傘下子会社の監査を担います。
- 2025年度の次期ERPの本格導入に向けて、勤務や経理データをコンピューターで解析する新監査技法の導入検討に着手します。
- 監査役との連携を強化し、グループの内部統制の充実を図ります。

4. 業務が効率的かつ安全に行えるようDX化の推進とITセキュリティの高度化を進める

- 深刻化するITリスクに対し、傘下子会社のセキュリティ対策の高度化を進めます。
- MS365利活用を進めるための研修やヘルプデスクなど、各社共通の業務を集約するとともに、全社的なITリテラシー向上に取り組みます。
- 多彩な人材がより創造性を発揮できるよう、映像編集やCG制作をリモート環境下でも行えるようDX環境の高度化を進めます。

5. 人財育成・ダイバーシティ・社会貢献の取り組みを進める

- 傘下子会社社員のキャリア形成・リーダーシップ形成を加速させるための施策の導入や、マネジメント層育成のための社員研修制度を創設するなど、人材育成を推進します。
- 環境経営、ダイバーシティ経営に関する勉強会や情報共有を進めます。サステナブル素材の活用を促進するなど、SDGsの考えを取り入れた事業推進への転換に取り組みます。

収支計画・予算

(単位 億円)

売上高	営業利益	当期純利益
65.5	53.5	53.5